

関連専門科目

◆科目名： 材料工学特別講義B1・B2

◆科目区分： 関連専門科目

◆必修/選択： 選択

◆授業形態： 講義

◆単位数： 各1単位

◆開講時期： 4年 前期，後期

◆授業時限： 掲示にて別途通知する.

◆担当者： 非常勤講師

◆問合せへの対応： II系（材料・量子エネルギー）事務室を通して担当の非常勤講師に
問い合わせる.

連絡先： II系（材料・量子エネルギー）事務室

5号館 233室, Tel : 789-2761, jim@numse.nagoya-u.ac.jp

◆授業のねらいと内容：

科学技術全般が抱える問題として、地球環境、エネルギー、廃棄物処理などの諸問題がクローズアップされてきている。材料技術者・研究者としてこれらの問題に対処していく際には、材料工学分野の専門知識だけでは不十分であり、関連する各種の周辺テーマについての基礎的知識が必要である。本科目では、これらの各種周辺テーマに関する講義を通じて、様々な分野で基盤となっている材料技術と諸問題との関わりについて学ぶ。また、多くの事例を用いた技術者倫理・工学倫理の講義と合わせて、技術者・研究者として社会に対する責任を自覚する能力を養う。

◆授業計画

各年度の講義計画について、別途、通知される。

◆バックグラウンドとなる科目：

全学教育科目の各科目，専門基礎科目の各科目，専門科目の各科目

◆教科書：

特に定めない

◆参考書：

特に定めない

◆成績評価の方法：

レポート，筆記試験，口頭試問など。

基本的には、当該年度に開講される複数の特別講義のうち、2講義の合格により1単位を与える。

◆科目名： 工場見学

◆科目区分： 関連専門科目

◆必修/選択： 選択

◆授業形態： 見学

◆単位数： 1 単位

◆開講時期： 3年 前期または後期

◆授業時限： 実施日時の決定次第，実施計画を掲示にて通知する．詳細についてはガイダンスで通知する．

◆担当者： 教務委員および3年生担当教員
(工学研究科 マテリアル理工学専攻材料工学分野)
連絡先: II系(材料・量子エネルギー)事務室
5号館233室, Tel:789-2761 , jimunumse.nagoya-u.ac.jp

◆問合せへの対応： 掲示，事務室を通して対応する．

◆授業のねらいと内容：

材料工学に関係のある企業や研究所を見学し，最先端の技術や研究に触れることにより，大学での教育の意義を理解し，また，その内容を補足することを目的とする．

◆授業計画：

詳しい実施計画（日時，見学先，その他）については掲示にて通知する．

◆バックグラウンドとなる科目：

材料工学の専門科目

◆教科書：

なし

◆参考書：

なし

◆成績評価の方法：

レポート(見学後，A4で1ページ程度の報告書をII系事務室に提出)

◆科目名： 工場実習

◆科目区分： 関連専門科目

◆必修/選択： 選択

◆授業形態： 実習

◆単位数： 1 単位

◆開講時期： 3年 前期

◆授業時限：

◆担当者： コース主任(工学部物理工学科材料工学コース)

連絡先: II系(材料・量子エネルギー)事務室

5号館233室, Tel:789-2761 , jimunumse.nagoya-u.ac.jp

◆問合せへの対応： 事務室を通して対応する。

◆授業のねらいと内容：

材料工学に関連した企業における実習体験を通してエンジニアに求められる資質を身につける。材料工学と実用上の問題との接点を身近に体験することにより学習意欲を喚起する。また、企業・社会に対するこれまでの漠然としたイメージを払拭し、将来の仕事や自分の適正を考える上で有意義な体験をする。さらに、企業人とのコミュニケーションを通し、主体性、責任感、自立心の醸成に役立てる。

ただし、本科目は、インターンシップの実施をもって単位を取得するものであり、実習計画などは受講生自身が作成する必要がある。実施に当たっては、名古屋大学のホームページ上の就職関連情報に関する以下のアドレスにある「インターンシップ情報」に記載されている案内に従うこと。

就職関連情報サイト：<http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

また、本部・学生総合支援課、および、工学研究科・工学部の教務課（教務掛）に問い合わせること。

◆バックグラウンドとなる科目：

材料工学の専門科目

◆教科書：

なし

◆参考書：

なし

◆成績評価の方法：

レポート

45時間相当以上の実習

レポートと実習先の評価を勘案して単位を認定する。